

問題

87 Aさん(58歳、女性)は転倒により橈骨遠位端骨折(コレス骨折)となり、右上肢をギプス固定した。

看護師が行う援助として適切なのはどれか。2つ選べ。

1. ときどき第1・2指を触って反応をみる。
2. 就寝時は右前腕を枕にのせる。
3. 患者の精神安静のため神経圧迫症状は説明しない。
4. 廃用症候群の予防のため、右上肢の外転を積極的に行う。
5. 入浴や洗髪の援助を行う。



解説 ギプス固定では、循環障害や圧迫による**神経麻痺の症状**の観察が重要となる。神経麻痺の症状がみられたら、ただちに圧迫を除去する必要があるが、ギプスカットは医師が行うべき医療行為であるため、看護師が自己判断で行うことはできない。異常を発見したら、すぐ医師に連絡する。

- 1 **×** 橈骨遠位端骨折(コレス骨折)による上肢のギプス固定では、手関節から肘関節までが固定される。肘部の不適切なギプス固定による**尺骨神経麻痺**がみられることがある。**驚手**や**第4・5指背側の知覚麻痺の有無**を観察する必要がある。第1・2指の知覚麻痺は**橈骨神経麻痺**でみられる。
- 2 **○** 上腕骨内側上顆の下で圧迫を受けた場合にも尺骨神経麻痺は生じるため、肘関節部(とくに尺骨側)に**荷重がかからない**ようにする必要がある。就寝時に右前腕を枕にのせるのも、肘関節部(とくに尺骨側)に荷重がかからず体圧の分散に効果的な手段の一つである。
- 3 **×** 異常の**早期発見**のために、患者自身にも神経が圧迫されやすい部位と神経麻痺の症状を説明し、看護師に早期に伝えることができるように指導を行う必要がある。
- 4 **×** 右上肢は患肢である。初期には患肢は**安静を保つ**必要がある。よって、初期には右手は使用しない。健側上肢を積極的に使い、日常生活動作が自立できるような援助を行う。
- 5 **○** 右上肢がギプス固定されているため、**濡らさないようにカバー**をかけるなどすれば入浴やシャワー浴は可能。1人での入浴や洗髪は困難であるが、身体の清潔の維持は感染症予防だけでなく、爽快感を得ることで精神的な安定に効果があるため、積極的に援助を行う。

正答
2・5

ワンポイントアドバイス

●骨折の合併症

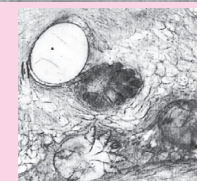
フォルクマン拘縮	・古くは小児の場合のみを指していたが、現在では前腕あるいは肘関節周囲の骨折などのあとの阻血性拘縮(前腕屈側萎縮硬化、手関節掌屈、中手指関節過伸)と、神経障害(正中神経麻痺、尺骨神経麻痺、手掌部知覚障害など)による後遺症を示す ・原因としては上腕動脈の循環障害や前腕のコンパートメント症候群などがある
コンパートメント症候群	・コンパートメントとは、骨、筋膜、筋間隔などで囲まれた区画を意味する ・コンパートメント症候群とは、スポーツや交通事故などによる打撲、骨折、脱臼などの外傷が原因で、出血や腫脹などで組織内圧が上昇し、細動脈の血行障害が生じることで筋腱神経組織の壊死や神経障害が生じるものを指す

問題

88 Aさん(80歳、男性)は介護老人福祉施設に入所している。指間と外陰部に強い掻痒感を伴う赤い線状の発疹が出現した。指間の写真と剥離した皮膚片の顕微鏡写真を示す(口絵2-NO.7)。

日常生活上の援助として適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 毎日シーツを替える。
2. 入浴は控える。
3. 衣類は塩素系漂白剤で洗濯する。
4. 軟膏は患部のみに塗布する。
5. 患者に接触するときは手袋をつける。



(第108回医師国家試験A40)

解説 線状の赤い発疹と顕微鏡写真から疥癬と判断できる。疥癬は、接触感染で感染する。ノルウェー疥癬はとくに**感染力が強い**ため、免疫力の低下した高齢者の多い施設では、感染の予防が重要である。

- 1 **○** 感染者との短時間の接触で、また、シーツ等の寝具を共有しても感染することがあるため、シーツなどは毎日交換し、洗濯する。**疥癬は乾燥に弱い**ため、ふとんも日光に当てて乾燥させる。
- 2 **×** 患者は**毎日入浴**させる。感染初期の患者は最後に入浴させる。
- 3 **×** 50℃の湯に10分間浸けてから洗濯する。塩素系漂白剤は使用しなくてもよい。
- 4 **×** 軟膏を塗布しない部分にヒゼンダニが逃げ込むため、**全身**に塗布する。
- 5 **○** 落屑の付着した寝具や衣類などとの接触による感染を避ける目的から、手袋、予防衣を着用して入室し、援助を行う。

正答
1・5

ワンポイントアドバイス

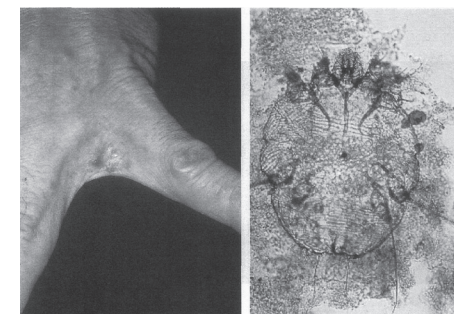
■疥癬の感染経路

- 疥癬は患者の**皮膚**との**直接接触**のほか、患者の使用している**寝具**や**衣類**などに**間接触**することでも感染するため、タオルやバスマットの**共有を避ける**必要がある。

■疥癬の予防的治療

- 疥癬患者の同居家族、集団感染の起こった施設の入所者には、予防的に、フェノトリンの塗布、イベルメクチンの内服が効果的である。ステロイド配合薬では疥癬が悪化するので使用しない。

■ヒゼンダニ



(第97回医師国家試験 D8)